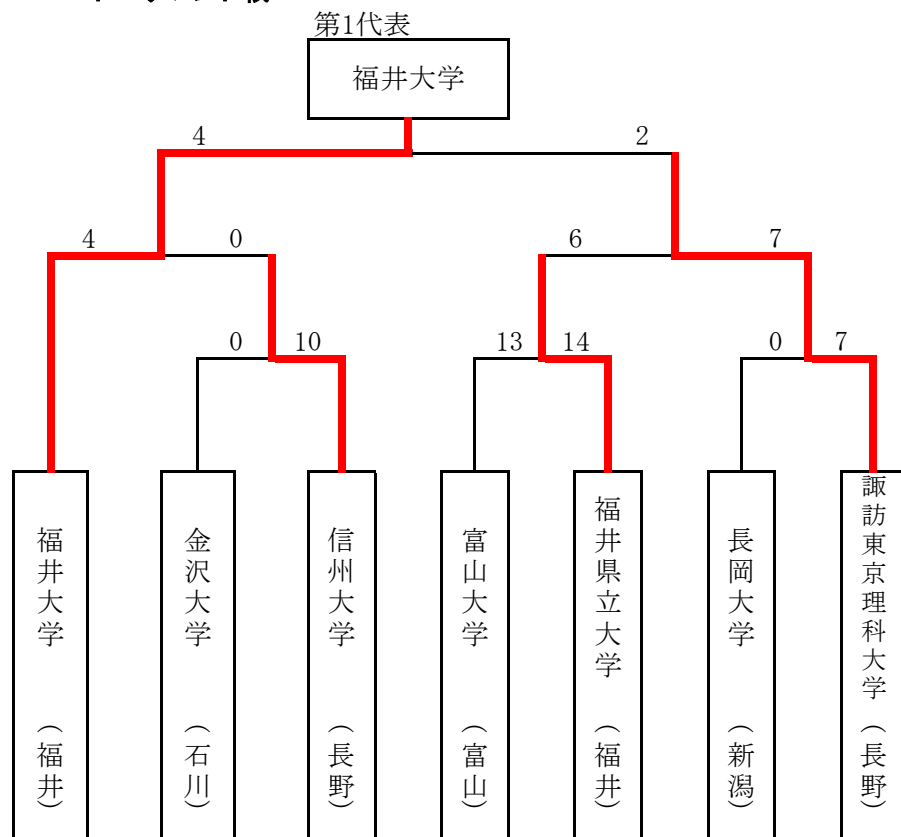


第25回 北信越大学男子女子ソフトボール選手権大会
 (兼) 文部科学大臣杯 第54回 全日本大学選手権大会予選会 大会結果

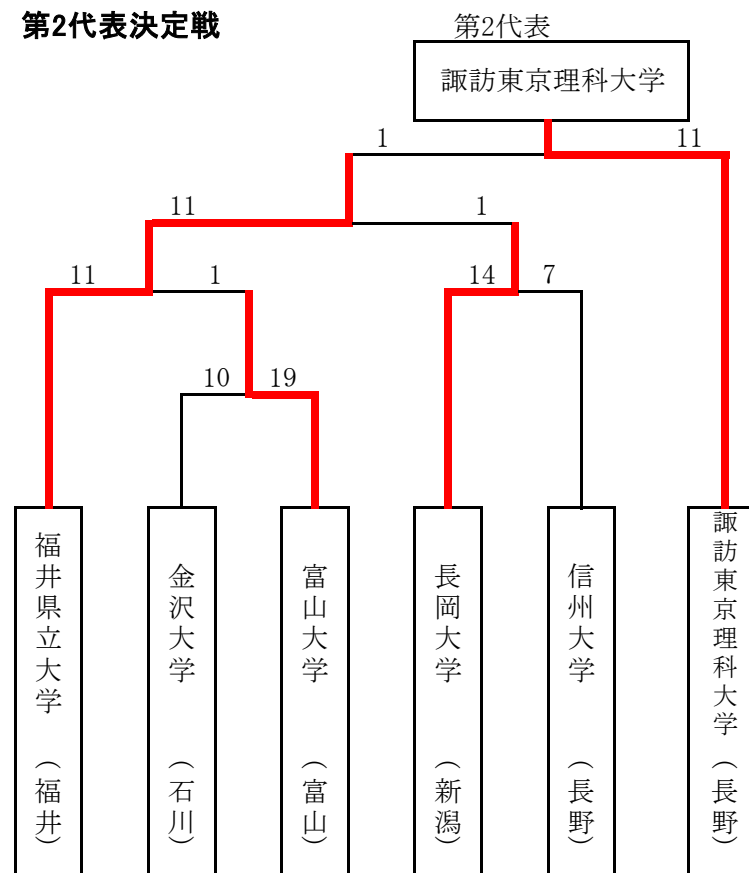
【男子の部】

2019年5月25日(土)～26日(日)
 県民須坂運動広場

トーナメント戦



第2代表決定戦



- 優勝 : 福井大学 (初優勝)
- 準優勝 : 諏訪東京理科大学
- 第3位 : 信州大学
- 第3位 : 福井県立大学

※インカレ出場権獲得校

- 福井大学 (16年ぶり2回目)
- 諏訪東京理科大学 (初出場)

【女子の部】

2019年5月25日(土)～26日(日)

須坂市北部運動広場

		松本大学	金沢大学	信州大学	金沢学院大学	勝	負	分	勝点	順位
1	松本大学 (長野)		○ 33-0	○ 7-0	● 1-5	2	1	0	4	2
2	金沢大学 (石川)	● 0-33		● 0-7	● 0-40	0	3	0	0	4
3	信州大学 (長野)	● 0-7	○ 7-0		● 0-16	1	2	0	2	3
4	金沢学院大学 (石川)	○ 5-1	○ 40-0	○ 16-0		3	0	0	6	1

優勝 : 金沢学院大学 (初優勝)

準優勝 : 松本大学

第3位 : 信州大学

※インカレ出場権獲得校

金沢学院大学 (3年ぶり8回目)

松本大学 (14年連続14回目)

『戦評』

5月とは思えない高温の中で、男子はトーナメント及び第2代表決定戦、女子はリーグ戦により、北信越の覇権ならびに全国大会への出場権を争った。その結果、男子は福井大学が攻守のバランスがとれた安定した試合運びで、歓喜の初優勝と共に16年ぶり2回目の全日本インカレへの出場を決めた。また、準優勝の諏訪東京理科大学はエースで主将の中島君が全試合を投げ抜き、創部2年目で全国大会へ駒を進めることとなった。一方女子は、金沢学院大学が松本大学が13年間守り続けた牙城を切り崩し、念願の初優勝を果たすとともに、3年ぶりの全国切符を手中にした。敗れた松本大学は長年守ってきた王座の座から陥落したことで、逆に大きな前進への契機となることを期待したい。北信越地区加盟校は国公立大学が多く、練習環境や運営資金などの問題を抱え、部の存続すら危ぶまれる大学も少なくないが、こうした地方の大学が一生懸命ソフトボールに取り組む姿勢こそが、大学ソフトボール界を支え、日本のソフトボールの普及・発展に貢献している。その意味で、敗れた各校ともプライドを持って今後の活動に取り組むとともに、捲土重来を期してこれからも楽しく、真剣にソフトボールに取り組んでいってくれることを願っている。

(北信越大学ソフトボール連盟 理事長 岩間英明)